

「Jアラート等を通じて弾道ミサイル発射に係る緊急情報を受信した場合」 の対応マニュアル

◆ Jアラート等を通じて弾道ミサイル発射に係る緊急情報を受信した場合

1 登校前，休日夜間の場合

- 児童 できるだけ窓から離れ，できれば窓のない部屋へ移動
- 学校 連絡メール等により臨時休校，自宅待機，対応等を連絡
児童の「安否確認」

2 児童が登下校中の場合

- 児童 近くのできるだけ頑丈な建物に避難
近くに適当な建物がない場合は，物陰に身を隠すか地面に伏せ，頭部保護
その後，自宅または学校の近いほうに避難
- 学校 教職員による通学路の見回り
児童の「安否確認」

3 児童が在校している場合

- 児童 教職員の指示により，教室の机下等に避難
- 学校 児童の安全確保
連絡メール等で下校方法等についてお知らせ
 - ・通常下校
 - ・教職員引率による一斉下校
 - ・下校時間の変更
 - ・学校待機し保護者迎えによる「引き渡し」

※安否確認

- ・学校から連絡メール配信
- ・各家庭は連絡メール配信アンケート機能により，1無事 2異常 を返信
- ・アンケート返信なしの家庭については，電話または家庭訪問で安否確認

弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動例について

平成29年4月21日付け消防国第38号，消防運第24号

「弾道ミサイル落下時の行動等について」参考

1 Jアラートを活用した緊急情報が発信された場合の行動例

○ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は，Jアラートを通じて，防災行政無線等で特別なサイレン音とともにメッセージが流れるほか，緊急速報メール等によって緊急情報が発信されるので，メッセージが流れたら，落ち着いて直ちに次の行動をとることが求められる。

【屋外にいる場合の行動例】

- ・近くのできるだけ頑丈な建物や地下などに避難する。
- ・近くに適当な建物がない場合は，物陰に身を隠すか地面に伏せ，頭部を守る。

【屋内にいる場合の行動例】

- ・できるだけ窓から離れ，できれば窓のない部屋へ移動する。

【自動車の車内にいる場合の行動例】

- ・車は燃料のガソリンなどに引火する恐れがあるため，車を止めて頑丈な建物や地下街などに避難する。周囲に避難できる頑丈な建物や地下街などが無い場合，車から離れて地面に伏せ，頭部を守る。

2 ミサイルが着弾した場合の行動例

○ミサイルが着弾した場合に取るべき行動の例は以下の通り。

- ・近くにミサイルが着弾した場合は，屋外にいる場合は，口と鼻をハンカチで覆いながら，現場から直ちに離れ密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。
屋内にいる場合は，換気扇を止め，窓を閉め，目張りをして室内を密閉する。
- ・弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため，テレビ・ラジオ・インターネット等を通して，情報収集に努めるとともに，行政からの指示があればそれに従って，落ち着いて行動する。